

# JAPAN SPORT

COUNCIL

日本スポーツ振興センター

# スポーツくじ



私たちは日本スポーツ振興センターの競技力向上事業助成とスポーツ振興くじ助成を得て事業を行っています

作成日: 2025年5月31日

## 2024年度 事業報告書

(自 2024年6月1日 ~ 至 2025年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟(JBLSF)は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を実施した。

### 1. 競技普及振興活動

#### (1) そり競技体験会事業

傘下の道府県連盟が主体となり、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして、小中学生を対象とした体験会事業を実施し、楽しみながらそり競技の魅力を体感してもらうことで、参加者はもとより、家族、友人、学校関係者のそり競技認知度を高めた。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
用具展示(ボブスレー)による疑似体験	長野	炭平フェア	2024/10	150
ジュニアプッシュ・ライド体験会		スパイラル	2024/8	3
プラスチックそり芝上体験会(夏季)	宮城	太陽の村	2024/10/14	50
プラスチックそり雪上体験会(冬季)		宮城県蔵王自然の家	2025/2/1	100
プラスチックそり雪上講習会(冬季)		みやぎ蔵王えぼし リゾートスキー場	2025/2/9	100
プラスチックそり雪上大会(冬季)		泉ヶ岳スキー場	2025/3/9	20
スケルトン体験教室	北海道	藤野競技場	2025/2	80
2025 さっぽろスノースポーツパーク		ダイワハウス プレミストドーム	2025/2	150
リュージュ体験教室		藤野競技場	2025/1, 2025/2	213

## (2) 選手発掘事業

### ① JSC スポーツくじ事業 タレント発掘

昨年度策定した競技別発掘育成計画書に基づき、ボブスレー・スケルトンは8年、リュージュは15年計画でオリンピックメダリスト有望選手を発掘・育成することを目的に、以下の事業を実施した。

#### ■ボブスレー・スケルトン合同

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
発掘テスト1	愛媛県	2024/6/15	25
発掘テスト2	埼玉県	2024/7/6	15
発掘テスト3	宮城県	2024/7/13	11

#### ■ボブスレー

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
育成合宿1	東京・千葉	2024/7/16-18	4
育成合宿2	長野	2024/8/1-3	7
育成合宿3	東京	2024/8/29	2
育成合宿5	長野	2024/9/26-29	4
海外育成合宿2	ヨーロッパ	2024/11/18-12/7	5
海外育成合宿4	ヨーロッパ	2024/12/13-31	6

#### ■リュージュ

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
育成合宿4	長野	2024/9/21-24	5
海外育成合宿1	Lake Placid	2025/1/7-22	2
海外育成合宿3	Pyeongchang	2025/2/22-3/4	4
巡回指導	愛媛・北海道	2024/6/18-21	4

#### ■スケルトン

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
発掘テスト4	長野県	2024/8/3-4	3
育成合宿6	長野県	2024/10/11-13	1

### ② 委託事業 J-STAR プロジェクト

JSCが開発したAPSを活用し、選手発掘をおこなう国家プロジェクトの委託事業として、スケルトン競技に必要なスプリント能力の向上を図りながら、応募選手の競技特性を検証した結果、スプリント能力と跳躍力に優れた2名の選手(陸上競技選手)をスケルトン競技の次年度育成対象選手に認定した。次年度から二刀流選手としての育成を開始する。

### 【検証合宿】

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
オンラインセミナー	自宅	オンライン	2025/2/1	2
オンラインセミナー	自宅	オンライン	2025/2/22	2
オンラインセミナー	自宅	オンライン	2025/3/8	2
国内合宿①	宮城県柴田郡	仙台大学	2025/1/24-1/26	2
国内合宿②	埼玉県東松山市	大東文化大学	2025/3/1-3/2	2

### (3) 国際大会・全国大会事業

長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)の冬季製氷休止に伴い、JBLSF が運営する冬季大会は今年度も事業を休止した。

夏季に開催するボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、医科学部所属の医師帯同のもと開催し、実践の場を通じた各選手の競技力強化及びボブスレー、スケルトンの振興普及を図った。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
2024 全日本プッシュボブスレー選手権 Presented by 北野建設	長野県	スパイラル	2024/8/26	14
2024 全日本プッシュスケルトン選手権 Presented by 北野建設				8

### (4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要不可欠な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催した。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を務め、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料とした。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
大阪連盟ルール講習会	兵庫県	サンライフ明石	2024/12/15	9

### (5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

### (6) 広報・資金調達活動事業

マーケティング委員会として連盟主催の唯一の全国大会である全日本プッシュスケルトン選手権及び全日本プッシュボブスレー選手権に力を入れた。今回よりオフィシャルトップパートナーである、北野建設株式会社の冠大会として開催し、企業認知向上に寄与できた。また、会場内の装飾(バナー・昇・バックボードなど)を行い、全日本選手権としての価値向上を行った。広報に関しては、事前に開催土地である長野県の民放局 4 社、新聞社 1 社に取材協力を依頼するとともに、連盟としても大会の公式プレスリリースを行なった。結果として、民放局 4 社、CATV1 社、新聞社 1 社、通信社 1 社と多くのメディアにて大会の様子が放映

された。マスメディアの活用に加えて自社メディア (Instagram・Youtube) の活用も積極的に  
行い、外部クリエイティブエージェンシーに依頼し迫力のある大会ハイライト映像も作成し、  
連盟メディアにて展開を行なった。

JOC ジョイントマーケティングプログラムにおいて行ったそり競技の体験イベントでは、合  
計 3000 人以上の方々にブースにお越し頂き、ボブスレー・リュージュ・スケルトン展示 (写真  
撮影)、ローラーソリ体験、プッシュボブスレー体験、エコバッグ作成会等のコンテンツを体  
験して頂くことができた。さらに、今後連盟として環境問題にも積極的コミットしていくため環  
境と冬競技というテーマでのトークショーなども開催した。

選手のシーズンインに伴い、各種ウェアへのパートナーロゴの掲出を行なった。国際連盟  
の映像にも日本選手の映像が使用されパートナー企業のロゴを掲出することができた。

PR 大手 PR Times とのパートナーシップ締結を行なった。このパートナーシップにより連  
盟の活動を無償でプレスリリースを発行できる環境を整えることができた。

上記の活動を通して、多くの方々に競技及びパートナーの皆様の認知向上に寄与するこ  
とができた。

資金調達活動としては、複数の広告代理店へのプレゼンを行なった。今後は各社代理店  
との協力を通して新規パートナーシップ獲得を目指していきたい。

## 2. 競技者強化と指導者養成活動

### (1) 強化事業

#### -1. ボブスレー

国際競技会派遣参加基準を見直し、身体能力レベルの高い選手尚且つインテグリティ意  
識の高い選手のみが代表選手に選出するようにした。

事業名称	開催地	事業内容	開催日	参加数(人)
国内強化合宿 1	埼玉県	スプリントトレーニング ウェイトトレーニング インテグリティ教育セミナー 個人面談	2024/5/24-25 2024/6/7-8	6
国内強化合宿 2	長野県	スタートトレーニング コンバインドテスト チームビルディング	2024/7/25-27	7
国内強化合宿 3	長野県	スタートトレーニング コンバインドテスト	2024/8/8-10	7
国内強化合宿 4	長野	最終選考会	2024/9/13-14	7
アスリートセミナー	オンライン	SNS の利活用 選抜選手における行動規範 選抜選手としての課題発見力・解決力 アンチ・ドーピング 個人面談	2024/9/17 2024/9/24 2024/9/24 2024/10/1 個別対応	8

## -2. リュージュ

米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約を当年度も継続し、JOC 海外研さん事業を利用したアメリカ夏季合宿を実施し、氷上スタートトレーニングを中心とした強化トレーニングを、アメリカ・レイクプラシッドでおこなった。

国内合宿は、国際競技会派遣選考規定のコンバインテストを実施。またアイスリンクを利用したスタートトレーニングを実施した。氷上でしっかりと氷を掴む感覚を養うことができた。

事業名称	開催地	目的	実施結果	開催日	参加数(人)
国内合宿 1	長野	①コンバインテストの実施 ②日常トレーニングの内容確認 ③今年度目標と、スケジュール MTG	①昨年度よりも少し成績の下がる種目もあったが、身体能力値をキープしている。 ②昨年までのウエイトトレーニングの内容を見直し、方法やポイントを指導した。 ③プレオリンピックシーズンになり、オリンピック出場の為のポイント獲得の為に、多くの WC に参加することの説明と、目標設定をおこなった。目標達成の為に、体重の増加と、体調管理の重要性を話し合った。	2024/6/18	1
海外研さん事業	アメリカ	①専門コーチによる氷上スタートトレーニング ②専門トレーナーによるフィジカルトレーニング	USLA の協力で、氷上スタートトレーニング、フィジカルトレーニングをアメリカチームと合同で実施した。体重増加に焦点を当てた。スタート練習では、力の伝達の仕方を改善し、スタートタイムが向上した。	2024/6/23-8/25	1
国内合宿 2	北海道	①アイスリンクでのスタートトレーニング ②フィジカルトレーニング ③遠征前スケジュール MTG	①小林選手がアメリカで実施した 2024 年度海外研さん活動助成でおこなったトレーニングメニューを中心とした内容で合宿をおこなった。 ②シーズン中のトレーニングメニューの作成、自重トレーニング指導などを実施した。 ③細かなスケジュールの確認や輸送方法(ATA カルネを使用)の確認をおこなった。	2024/9/24-27	1

## -3. スケルトン

JSC「メダルポテンシャルスポーツ育成のための持続可能なシステム構築支援委託事業(システム構築事業)」において、日本版 FTEM モデルを基に、Talent 段階の選手を Elite 段階へと移行させるためのシステム構築を目指した取り組みを実施した。

本事業では、TA(ターゲットアスリート)を対象に、課題の抽出およびプッシュタイム向上を目的とした合宿を重点的に実施した。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
国内合宿①	埼玉県東松山市	大東文化大学	2024/4/15-4/18	2
国内合宿②	長野県長野市	長野市ボブスレー・リュージュパーク 黒姫陸上競技場	2024/8/21-9/1	4
国内合宿③	北海道泊村	泊村アイスセンター とまりンク	2024/9/24-9/29	2

## 海外遠征・国際レース参戦事業

### -1. ボブスレー

2024年10月から若手パイロット3名(男子2名、女子1名)を対象とした海外滑走合宿を実施した。期間中、50本前後の滑走機会を得ることができ、滑走の基礎を学ぶことができた。

2024年12月から大会に参戦した。オリンピックシーズンはノースアメリカカップでポイント獲得を目指すため、レイクプラシッドの大会に参戦することとした。

シーズンを通じてスタートタイム、パイロットスキルの向上が見られ、成績は昨年度と比較して上昇した。

本年度から競技を開始した女子の有望選手が大会に出場できるレベルまで成長した。

事業名称	開催地	事業内容	開催日	参加数(人)
海外滑走合宿	リレハンメル	海外滑走合宿	2024/10/15-11/5	3

### ■ヨーロッパカップ

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2024/12/19	ヨーロッパカップ2人乗り 第1戦	インスブルック/オーストリア	18	松岡・假屋
			24	竹内・奥野
2025/2/7	ヨーロッパカップ2人乗り 第6戦	アルテンベルグ/ドイツ	12	篠原・羽生田
			DNS	松岡・加藤
2025/2/21	ヨーロッパカップ2人乗り 第7戦	ウインターベルグ/ドイツ	11	篠原・加藤
			13	松岡・假屋
2025/2/21	ヨーロッパカップモノボブ 第7戦	ウインターベルグ/ドイツ	17	石川
2025/2/27	ヨーロッパカップ2人乗り 第8戦	サンモリッツ/スイス	11	篠原・羽生田
			12	松岡・加藤
2025/2/27	ヨーロッパカップモノボブ 第8戦	サンモリッツ/スイス	12	石川

### ■ノースアメリカカップ

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2025/1/23	ノースアメリカカップ2人乗り 第7戦	レイクプラシッド/アメリカ	7	松岡・假屋
2025/1/24	ノースアメリカカップ2人乗り 第8戦	レイクプラシッド/アメリカ	6	松岡・假屋

## -2. リュージュ

米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約に沿って USLA チームに帯同し、氷上滑走トレーニング、国際大会に参加した。ワールドカップ 9 戦、世界選手権に参加し、最高順位 16 位(WC インスブルック)、世界ランキング 24 位となった。

### ■ワールドカップ / ネイションカップ(=ワールドカップ予選) 男子

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2024/11/30	第 1 戦 ネイションカップ	リレハンメル/ノルウェー	13	小林誠也
2024/12/	第 1 戦 ワールドカップ		22	
2024/12/6	第 2 戦 ネイションカップ	インスブルック/オーストリア	5	
2024/12/8	第 2 戦 ワールドカップ		16	
2024/12/13	第 3 戦 ネイションカップ	オーバホーフ/ドイツ	12	
2024/12/15	第 3 戦 ワールドカップ		25	
2025/1/3	第 4 戦 ネイションカップ	シングルダ/ラトビア	10	
2025/1/5	第 4 戦 ワールドカップ		27	
2025/1/10	第 5 戦 ネイションカップ	アルテンベルグ/ドイツ	14	
2025/1/12	第 5 戦 ワールドカップ		25	
2025/1/17	第 6 戦 ネイションカップ	ウィンターベルグ/ドイツ	16	
2025/1/19	第 6 戦 ワールドカップ		27	
2025/1/24	第 7 戦 ネイションカップ	オーバホーフ/ドイツ	13	
2025/1/26	第 7 戦 ワールドカップ		28	
2025/2/15	第 8 戦 ネイションカップ	平昌/韓国	6	
2025/2/15	第 8 戦 ワールドカップ		18	
2025/2/22	第 9 戦 ネイションカップ	北京/中国	10	
2025/2/23	第 9 戦 ワールドカップ		26	

### ■アジア選手権 / 世界選手権 男子

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2025/2/8	FIL 世界選手権	ウィスラー/カナダ	23	小林誠也
2025/2/15	アジア選手権	平昌/韓国	優勝	

## -3. スケルトン

### ① 強化事業

国際大会に派遣した 2 名の選手に対し、レース参戦および滑走経験の蓄積を目的とした合宿を実施した。対象大会は Europe Cup、North American Cup、Junior World Championships であり、Europe Cup では最高順位 10 位を記録し、当初設定していたマイルストーンを達成した。一方、Junior World Championships では、目標としていた順位に届かず、課題が残る結果となった。Europe Cup においてマイルストーンを達成できたことを受け、シーズン途中より短期目標を上方修正し、ワールドカップ出場枠の獲得を目指して参戦レース数を増加させた。しかし、IBSF ランキングは 72 位となり、出場枠獲得に必要なポイントに 6 ポイント届かず、翌シーズンのワールドカップ出場枠は確保できなかった。

また、滑走技術の習得に関しては、設定していた滑走本数目標 150 本に対し、2 名の

選手はそれぞれ 185 本および 169 本の滑走を記録し、レース派遣と並行して十分な滑走経験を積むことができた。

#### ■IBSF Europe Cup

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2024/11/30	第 1 戦	ウィンターベルグ/ドイツ	29	長尾太道
			39	川野隼
2024/12/7	第 2 戦	リレハンメル/ノルウェー	16	川野隼
			41	長尾太道
2024/12/8	第 3 戦	リレハンメル/ノルウェー	22	川野隼
			棄権	長尾太道
2024/12/20	第 4 戦	ブルデンツ/オーストリア	10	川野隼
			15	長尾太道
2024/12/21	第 5 戦	ブルデンツ/オーストリア	19	川野隼
			28	長尾太道
2025/2/14	第 8 戦	リレハンメル/ノルウェー	17	川野隼

#### ■IBSF North American Cup

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2025/1/25	第 7 戦	レイクプラシッド/アメリカ	28	川野隼
2025/1/26	第 8 戦		29	

#### ■IBSF Junior World Championships

日程	開催地	順位	出場選手
2025/1/18	サンモリッツ/スイス	29	長尾太道

## ② システム構築

オリンピックでのメダル獲得実績を有する英国人コーチングアドバイザーを招聘し、競技力の向上および育成システムの構築を目的とした海外合宿を実施した。

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
海外合宿 1	平昌/韓国	2025/2/2-24	3
海外合宿 2	北京/中国	2025/3/6-17	2

## (2) 指導者養成事業

日本スポーツ協会(JSPO)の公認コーチを有した指導者の育成と、その指導者が指導現場で適切に活動できるよう、以下の事業を実施した。

#### ■専門科目講習会

JSPO コーチ 3 専門科目講習を対面で実施し、受講者 1 名が公認コーチ 3 資格を取得した。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
公認コーチ 3 養成講習会	長野市	長野市スパイラル	2024/9/7-8	1 名

## ■更新講習会

JSPO コーチ資格所有者を対象に更新講習会を実施した。2024 年度にルール改訂となった点を中心に、ボブスレー・スケルトンおよびリュージュについてそれぞれ動画を作成し、オンデマンドにて配信を行った。

動画名	講師	配信期間	視聴数(～3月末)
2024 年度規則の改訂部分_ボブスレー・スケルトン	小林 忠司	2024/9/21-	58 回
2024 年度規則の改訂部分_リュージュ	小口 貴久	2024/9/21-	34 回

### (3) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止した。

### (4) 医科学サポート推進事業

JOC Vision2064 で掲げる「高い競技力と人間力を活かし、充実した人生を歩む、憧れの存在となるアスリートを育てる」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、アンチ・ドーピング教育等のスポーツ・インテグリティ教育、その研究支援などを行った。

これらの活動に関しては、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行なわれたものであり、医・科学部単独で行うものではない。

上記に基づき、以下の年間活動と事業を実施した。

#### ① 年間活動

活動名称	目的	対象者
スポーツ・インテグリティ教育	アンチ・ドーピング教育をはじめとしたスポーツ・インテグリティに関する教育啓発活動を行う	加盟選手 スタッフ
サプリメントポリシーの運用	派遣対象選手に対して、アンチ・ドーピングを目的に、策定したサプリメントポリシーを運用し、利用管理を行う	派遣対象 選手
要望、状況に応じた 医・科学サポート	競技力向上につながるトレーニングやコンディショニングを目的に、要望と状況に応じて医師やトレーナー、管理栄養士、科学スタッフによる医・科学サポートを行う	派遣対象 選手
全日本プッシュ選手権大会 現地医療対応	大会参加者の安全、健康管理を目的に医師を現地に派遣する	大会参加 選手

#### ② 事業

事業名称	開催地	事業目標	開催時期	人数(人)
3 競技合同会議	東京都(ハイブリッド開催)	・強化・育成戦略、中長期計画の共通認識の促進 ・選手、連盟のコミュニケーションの促進 ・アンチ・ドーピング等をはじめとしたスポー	2024/8/31- 9/1	選手:15 スタッフ: 22

		ツ・インテグリティ教育の促進 ・競技力向上につながる医・科学情報の理解		
アスリートセミナー	オンライン	本連盟の派遣対象候補選手に対して、医学サポートに関する情報や、情報リテラシー、コンプライアンスとインテグリティ教育、個別面談を行い、日本を代表して活動するに相応しいアスリートを養成する	2024/9/17 2024/9/24 2024/9/25 2024/10/1 2024/9-10 オンライン で全5回実施(個別面談を含む)	選手:17 スタッフ: 15

以上